

「釧路湿原自然再生協議会」

第4回 旧川復元小委員会

資 料

平成17年2月23日

釧路湿原自然再生協議会事務局

釧路湿原自然再生協議会

第4回 旧川復元小委員会

日時:平成 17 年 2 月 23 日(水) 13:00～15:00

場所:釧路地方合同庁舎 5 階 共用第 1 会議室

議 事 次 第

1. 開 会

2. 議 事

1) 平成 16 年度調査検討中間報告

2) 茅沼地区旧川復元実施計画書骨子(案)について

3. その他

4. 閉 会

釧路湿原自然再生協議会
旧川復元小委員会 委員名簿

計:28名

個人(9名)

(敬称略、五十音順)

No	氏名	所属
1	内島 邦秀	北見工業大学 工学部 教授
2	大山 仁美	環境カウンセラー(事業者部門)
3	桂川 雅信	
4	神田 房行	北海道教育大学 副学長(釧路校担当)
5	木村 勲	
6	清水 康行	北海道大学大学院 工学研究科 助教授
7	中村 太士	北海道大学大学院 農学研究科 教授
8	針生 勤	釧路市博物館 館長補佐
9	松本 文雄	

団体(10名)

(敬称略、五十音順)

No	団体/機関名	代表者名
1	釧路市漁業協同組合	代表理事組合長 濱 隆司
2	釧路自然保護協会	会長 高山末吉
3	釧路湿原国立公園 ボランティアレンジャーの会	代表幹事 山口 功
4	釧路シャケの会	会長 林田 恒夫
5	釧路水産用水汚濁防止対策協議会	会長 濱 隆司
6	釧路生物談話会	代表 須摩 靖彦
7	さっぽろ自然調査館	代表 渡辺 修
8	下久著呂地区農業用排水維持管理組合	組合長 八木沢 栄蔵
9	タンチョウ保護調査連合	代表 正富 宏之
10	特定非営利活動法人 トラストサルン釧路	理事長 鈴木 順雄

オブザーバー(5団体)

(敬称略)

No	団体/機関名	代表者名
1	社団法人 十勝釧路管内 さけます増殖事業協会	会長 小嶋 孝
2	標茶町農業協同組合	代表理事組合長 門田 功一
3	鶴居村農業協同組合	代表理事組合長 瀧澤 義一
4	幌呂農業協同組合	代表理事組合長 植田 晃雄
5	標茶町商工会	会長 栗田 和行

関係行政機関(4機関)

(敬称略)

No	団体/機関名	代表者名
1	国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部	部長 神保 正義
2	環境省 東北海道地区自然保護事務所	所長 星野 一昭
3	標茶町	町長 今西 猛
4	鶴居村	村長 日野浦 正志

議事概要と今後の対応方針～第3回旧川復元小委員会

No.	議事概要	今後の対応方針
1	図面に方位を入れて欲しい。魚は日陰を好むので、河畔林を復元する際には、日の当たり方を考える必要がある。	図面には方位をつけます。
2	リファレンスサイトでは、湾曲部の外側は河畔林が少なく見えた。そのようなことも考慮して旧川の復元が考えられるのでは。蛇行と河畔林の関係を調査してはどうか。	今後そのような点にも着目して、河畔林の再生を考えていきたい。
3	旧川の河畔林の再生は、苗を植林するのではなく、自然に定着するのを期待する方がよいのではないか。	基本的には、自然の定着を期待し、モニタリングを行う。一方、魚類の生息環境の早期復元、河岸保護などの観点から、植林による河畔林の再生も試験的に実施したいと考えている。
4	現直線河道の右岸側の残土を全て撤去すれば、旧川復元区間を上流まで延ばせるのではないか。 五十石築堤を施工した場合、旧川復元により河川水位が上昇しても、農地への影響は出ないのではないか。	旧川復元により河川水位が上昇した場合、周辺地の地下水水位上昇が想定されます。そのため上流の農地利用に影響を与えないよう、その地点の河川水位の上昇がないよう計画を立てています。直線河道の右岸側の残土を全て撤去した場合でも、平水時の河川水位の上昇が考えられるため、現在の復元区間としています。 五十石築堤が施工された場合、当該箇所治水安全度は向上します。しかし築堤の有無に関わらず、旧川復元により、当該箇所の平水時の河川水位の上昇が考えられるため、現在の復元区間としています。
5	直線河道の将来予測は早く整理して欲しい。いまの河道を活かしたかたちで新しい蛇行がつかれないかと考えている。	直線河道の河岸侵食のシミュレーションは、今回委員会で提示します。
6	旧川の掘削にあたって、掘削箇所の魚類はできるだけ移動するように努力してほしい。	捕獲や自ら待避できるようにして、可能な限り移動するように努力する。
7	現直線河道の右岸側の植生の変遷が分かる資料があれば提示してほしい。	茅沼地区の過去からの空中写真があるので、提示します。
8	「釧路湿原の河川環境保全に関する検討委員会」の提言にある5河川だけではなく、湿原上流などにはたくさんの直線化された小河川があり、それらを自然河川に復元することが明確になってもいいのではないか。	5河川以外の河川の直線化の状況は、今後整理していきたいと考えています。河川環境の保全・再生として必要な対策は検討していきたいと考えています。
9	釧路川の情報を、もう少し分かりやすく公開して欲しい。特に小委員会のような場では。	情報を整理して提供いたします。

第4回 旧川復元小委員会

資料目次

I. これまでの経緯と今後の計画	1
II. 平成16年度調査検討中間報告	5
II-1 直線河道部の河岸侵食～蛇行化の可能性	5
II-2 落下昆虫量調査	12
II-3 施工計画	14
III. 茅沼地区旧川復元実施計画書骨子(案)について	17
III-1 実施計画案策定フロー	17
III-2 実施計画書骨子(案)総括表	18
III-3 実施計画書目次構成案	20
1. はじめに	21
2. 事業の実施区域	22
3. 現状と課題	23
3-1 茅沼地区の現状	23
3-2 課題と要因の抽出、並びに課題解決に向けての施策	24
4. 事業の目的と目標	25
4-1 事業の目的	25
4-2 事業の目標設定	25
5. 事業の実施内容	26
5-1 茅沼地区旧川復元計画の概要	26
5-2 旧川復元河道計画	27
5-3 その他河川環境の保全・再生のために実施する対策	30
5-4 施工計画	31
5-5 地域協働と環境教育	35
6. 事業の実施により期待される効果の予測評価	36
6-1 予測・評価の考え方	36
6-2 湿原景観の回復	37
6-3 生物の生育生息環境の保全(魚類)	38
6-4 湿原植生の再生	40
6-5 土砂流出の抑制	41
6-6 モニタリングによる検証	41
6-7 順応的管理手法の適用について	42
7. 事業の実施者と協議会	43
7-1 事業の実施者及びその属する協議会	43
7-2 関連・協働する組織と実施体制	43

- 参考資料 -

参考資料1 茅沼地区周辺空中写真による変遷

参考-1